

# 仙台二中 防災だより

第7号

令和5年度 第7号  
令和5年9月22日発行

発行者 防災主任

## 大雨の災害から命を守るために(その1)

今年は例年より早く梅雨が明け、観測史上かなり暑い夏でした。梅雨の時期以外の9月から10月にかけても台風による大雨、洪水、土砂災害などが多く発生する時期になります。気象庁によると、記録的な大雨の発生は40年間で約2倍に増えており、年々水害リスクが高まっています。宮城県では令和元年東日本台風(2019年10月)、関東東北豪雨(2015年9月)で大きな被害が出たり、先日の台風による福島県や茨城県、また7月には鳥取県や秋田県などの全国各地で大雨による災害が起こったりしています。大雨による風災害は気象情報に注意し、事前の備えと準備で大きな被害からかなりの確率で身を守ることができます。

### 1 ハザードマップで自宅周辺のリスクを確認する

仙台市の「仙台防災ハザードマップ」や「せんだいくらしのマップ」のホームページ、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」などで、自宅周辺の洪水・土砂災害・内水氾濫、浸水履歴などの災害リスクを確認できます(2・3年生は防災学習で学区内や周辺の災害リスクを実際に調べました)。「早期の立退き避難が必要な区域」内なのかも確かめましょう。

- 洪水…河川の氾濫(上流にあるダムやため池からの放水が原因の場合も)
- 土砂災害…崖崩れ、土石流、地すべり
- 内水氾濫…下水道の排水が追いつかず家が水に浸かったり道路が冠水する
- 浸水履歴…過去に水害が起きた場所



ハザードマップ  
関連サイト

### 2 避難する場所やタイミングを確認する

「早期の立退き避難が必要な区域」もしくは自宅周辺で災害リスクがあるところは、安全なところに住んでいて身を寄せられる親戚や知人宅か、大雨時に開設される近くの避難所に避難することになります。高齢者や妊婦、避難に時間がかかる場合などは警戒レベル3の「高齢者等避難」で、それ以外は警戒レベル4の「避難指示」までにそれぞれ危険な場所から避難します。自宅待機する場合は、食料や飲料水が十分にあり、想定される浸水の深さより高い位置にあるときです。しかし日が落ちて真っ暗な中で避難することは足元や周囲の安全を確認することが難しく大変危険ですので、明るい時間帯のうちに済ませるように心掛けてください。

警戒レベル		新たな避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)